**2024年3月27日**

**富士フイルム、商業印刷用の高速インクジェット連帳プリンター「Jet Press 1160CFG」をdrupa 2024に初出展**

富士フイルムグループは、1970年代後半からインクジェット技術の開発に着手し、2011年に世界初のシングルパスインクジェット枚葉プリンター「Jet Press 720」を発売しました。その後、1200 dpiの高解像度印刷能力、そしてオフセット印刷を凌駕する優れた品質を備えた「Jet Press 750S」を発売。現在までに300台以上を売り上げ、世界的に大きな成功を収めています。

2011年には、日本およびアジア太平洋地域のトランザクション印刷市場向けに連帳インクジェットプリンターを発売しました。さらに、2019年には、日本の商業印刷市場をターゲットにしたプリンターを発売しました。トランザクション印刷市場では、独自のサーバー技術により、バリアブルデータの高速・大量・安定出力を実現。商業印刷市場では、プレコートが不要な独自開発のインクを活用することで高画質の印刷を実現しました。日本とアジア太平洋地域におけるプリンターの販売台数は150台以上にのぼり、市場最大のシェアを誇ります。

今回、富士フイルムグループは、10年以上にわたり培ってきた経験と技術力を結集した新しい連帳インクジェットプリンター「Jet Press 1160CFG」を「drupa 2024」に出展します。この革新的なプリンターは、新開発の水性顔料インクの採用により、コート紙・上質紙ともに美しく印刷することが可能です。

また、富士フイルムグループ独自の新技術「ペーパースタビライザー\*1」も採用しています。「ペーパースタビライザー」は、印刷前の用紙の状態をコントロールすることで、厚紙へのインクの付着、薄紙のうねり、環境や季節による品質の変動など、連帳インクジェットプリンター特有の課題を解決します。ダイレクトメールやパンフレットなど、商業印刷の幅広い用途にご利用いただけます。富士フイルムは、「drupa 2024」において、この新技術を初公開します。

富士フイルムグループは、高品質な製品の提供を通じて、お客さまのビジネスの価値向上と業務の効率化を図り、将来にわたる成長に貢献してまいります。drupaにご参加の際は、ぜひ富士フイルムのブースにお立ち寄りください。

\*1：用紙の状態をコントロールする新開発の技術。

**記**

**富士フイルム株式会社について**

富士フイルム株式会社は、富士フイルムホールディングスの主要事業会社です。1934年の創業以来、フォトイメージングの分野で数多くの先端技術を開発してきました。現在はトータルヘルスケアカンパニーとして、これらの技術を医療・ライフサイエンス分野に応用し、「予防」「診断」「治療」の3領域で幅広い事業を展開しています。また、フラットパネルディスプレイの材料などの高機能材料事業や、グラフィックシステム事業、光学デバイス事業にも注力し、拡大を図っています。

**富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部について**

富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部は、印刷会社の頼れる長期的パートナーとしてビジネスの拡大を支援するために、質の高い高度な印刷ソリューションを提供することに重点を置いた組織です。安定した財政と研究開発への多大な投資により、業界トップクラスの印刷を可能にする独自技術を開発しています。こうした技術には、オフセット印刷、ワイドフォーマット印刷、デジタル印刷用のプリプレスとプレスルームソリューション、印刷生産管理用のワークフローソフトウェアなどがあります。富士フイルムは、自社の製品や事業活動による環境への影響を最小限にとどめるための対策や環境保全に積極的に取り組んでいます。また、印刷会社に環境保全のベストプラクティスを周知することにも注力しています。詳細については、fujifilmprint.euまたは[youtube.com/FujifilmGSEurope](http://www.youtube.com/FujifilmGSEurope)をご覧いただくか、@FujifilmPrintをフォローしてください。

**お問い合わせ先**

Daniel Porter

AD Communications

Eメール：dporter@adcomms.co.uk

Tel： +44 (0)1372 464470